



# いしのまき



▼あゆみ野町内会での防災訓練



## 家庭、学校、地域 広がる防災の輪

### 東日本大震災から11年

#### 教訓を伝え災害に備える

東日本大震災以降、市内では震災での教訓を生かし、災害へ備える活動が進められています。災害時における限られた食材で調理する実習、学校では防災センターの見学、避難所運営ゲームなど遊びを加えながら関心を高める取り組みが展開されています。各町内会単位の防災訓練も具体的な内容で参画意識を高めています。間もなく震災から11年です。各家庭でも、もう一度身の回りを点検し、避難のあり方など、災害への備えをもう一度確認しましょう。



石巻市イメージキャラクター

▲渡波小2年生の児童が防災センターを見学しました。



▲河南東中では防災訓練「避難所運営ゲームHUG体験学習」を行いました。



▲石巻市防災士協議会は女性防災士の集いで「パッキング サバイバルめし」に取り組みました。



▲市内の子どもたちがまち歩きとマップ作りを通じて地域の自然や歴史、復興や防災に関する理解を深めました。